



ほっこりタイム



「子を持って知る子の恩」

「子を持って知る親の恩」は、誰もが知る大切な教えです。が、私は「子を持って知る子の恩」も忘れてはならないと思うのです。

何の疑いもなく全身を親に預けて、一生懸命おっぱいを飲み、眠る幼子。泣いて助けを求めるのも親を信じていればこそ。笑ったり、ハイハイしたり、片言をしゃべり始めた時、私たち親はどんなに嬉しかったことか。子どもが運んでくれた様々な出会いや喜び、感動。成長を見守りながら抱いた心配や悩みや葛藤、辛かった体験でさえ、私たちの成長の糧となり、人生を豊かにしてくれたように思います。子どもの存在に癒され励まされて困難を乗り越えたり、挑戦する勇気が湧いた事もあったかもしれませんね。

私たちが小さな事でイライラして不機嫌に接したり、些細な事で理不尽にガミガミ責めてしまっても、子どもは私たちを見捨てずに慕ってくれたのではないのでしょうか？ その姿に、愛しさと後悔で涙したことがあるのは私だけではありますまい。

子育てサロンの手伝いをしていると、訪れる多くの子ども達が、その小さな体と心のありっただけで親を愛し頼りにしている様子を毎回目の当たりにして、胸がいっぱいになります。

卒業や進級・進学を控えたこの季節。子どもと一緒に紡いできた日々を、もう一度思い起こしてみませんか。

“神さまはこの幼子に、たくさんの良き賜物を授けて下さっています。どうぞ、感謝しつつ大切にお育て下さいませ”

その昔、私がプレゼントして頂いたこの言葉を、皆さまにも贈らせてください。



コラムニスト 静岡県人づくり推進員 兼  
 親業訓練インストラクター 尾駒 眞理

「わたしの主張 2025」富士宮大会で最優秀賞に選ばれました富士宮第四中学校 2年 松本 凜央さんの作品を紹介します。

「わたしの主張」は日常生活の中で考えていること、社会や世界に向けた意見、将来の夢や希望などを周囲の人々や社会に対してメッセージを伝えることで、社会の一員としての自覚を高めることを目的として開催しています。

読者の皆様におかれましては、作品をとおして、中学生の頼もしい姿を感じ取っていただくとともに、青少年の健全育成への理解と関心を深める契機となれば幸いです。

「幸せを願って」 富士宮第四中学校 まつもと 松本 りお 凜央

(なぜそんなことをするのだろう)

私は毎日のように報道される「〇〇の容疑で容疑者逮捕」や「〇〇市で傷害事件発生」のニュースを見て思いました。一度のけんかやすれ違い、あるいは長年の恨みなどによって人が殺されてしまったケースをよく耳にします。人間は包丁や縄などたった一つの武器で死んでしまう生き物です。亡くなった方にも大切な家族がいたかもしれません。「誰かの身勝手な、一線を越えた行動によって誰かが死んでしまう」そんなことはあってはなりません。ですが、そのようなことは日々地球のどこかで起きており、加害者や被害者となる「誰か」は誰もがなり得ます。あなたも自分で気付いていないうちに相手を不快にさせているかもしれませんし、恨まれているかもしれません。知人や家族と話したその一言が引き金となり未来のあなたの命が奪われてしまうとういことにもなりかねません。

世の中の事件の割合は窃盗が 46.7%で最も多く、次に多いのが 13.8%の暴行と 10.9%の傷害だそうです。暴行とは他人のからだに暴力を加えることで、傷害とは人に怪我をさせるという意味があります。また、暴行傷害事件の理由は多岐に渡るそうですが、激情や飲酒、報復や怨恨などが主な動機となっているそうです。殺人事件のように人を殺すことはもちろんいけないことですが、人を傷つけることもいけないことです。そのことが分かっているのにそういった事件を起こす人がいてその事件のせいで被害者は幸せを壊されることになってしまうのです。加害者は人を傷つけたり苦しめることで自分の気持ちを晴らしたり復讐を成し遂げようとしてしているのでしょうか。人を傷つけることで本当に恨みは晴らすことができるのでしょうか。

多くの事件で被害者に被害が及ぶ理由があるように、加害者にも人を傷つける理由があります。「愛する家族のため」とか「被害者から脅迫されていた」など、事件は被害者が原因の場合も多くあります。闇バイトなどで雇われた人は、お金のためや楽に稼げることに興味をもち、犯

罪行為に加担してしまいます。楽に稼げたとしても他人のお金を奪ったり、心を傷つけたりすることはその人の本望ではないはずです。事件が起きると「加害者が悪い」と考えがちですが加害者にもそういった事件を起こさなければならない理由があったかもしれません。

いかなる理由があろうともしてはいけないことではあることは間違いありません。将来の自分や家族、友人の命と心を守るために、これからの言葉遣いや行動を意識することが大切ではないかと思います。いくら仲の良い友人でも度の超えた言葉は避けるとか相手のことを考えるということも大切です。また、

- 発言する前に内容をよく考える
- 自分が言われたらどう感じるか
- 相手は今どんな気持ちか
- その言葉を発することで自分はどんな気持ちになるのか

などを意識してみるとよいのではないのでしょうか。悪いこと、嫌がることをしてしまったら素直に謝る。自分もされたら正直に伝えることで気持ちを抑えることなく生活できると思います。私たち一人一人が少しずつ自分の言動を見直すことで未来の事件が一つ減ることにつながると信じています。世界の全ての人が幸せに暮らせることを願っています。



令和8年2月5日（木）に行われた令和7年度 第2回富士宮市青少年指導員協議会全体研修会で作文の朗読をする松本 凜央さん（富士宮第四中学校 2年生）



#### わたしの主張2025富士宮大会 表彰式

会場：富士宮市役所 7階 特大会議室

最優秀賞	富士宮第四中学校	2年	松本 凜央さん（右から2番目）
優秀賞	富士宮第四中学校	2年	井上 瑚桜さん（左から2番目）
優秀賞	大富士中学校	3年	須藤 新太さん（一番右）
優秀賞	大富士中学校	1年	植野 嬉穂さん（一番左）

# 青少年相談センターってどんなところ？

悩みや不安を抱える青少年や、こどものことで心配ごとをお持ちの保護者及び関係者の相談に応じる機関です。また、不登校になった児童・生徒の自立と学校復帰への支援、発達支援を学校と連携して行う教育支援センターや若者支援を行う場として機能しています。



相談日：月曜日～金曜日  
(祝祭日・年末年始は休み)  
相談時間：午前9時～午後5時  
※第2・第4水曜日は、午後8時まで開設しています。

## 小中学生に関すること

 **0544-22-0064**

- ◆ 学校生活や学習のこと
- ◆ 家庭生活・生活態度等のこと
- ◆ いじめや非行の問題のこと
- ◆ 発達上の問題や子育てのこと
- ◆ 不登校のこと

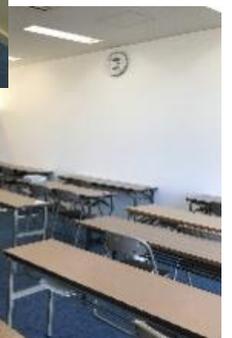
## 中学卒業～39歳までの方に関すること

 **0544-22-1252**

- ◆ 若者の就学・就労のこと
- ◆ ひきこもりのこと
- ◆ 友人関係や職場の人間関係のこと
- ◆ 性や身体の悩み・男女関係のこと
- ◆ 不登校のこと

## ご相談の流れ

- 1 まずはお電話、もしくは二次元コードを読み取り、メールをください。
- 2 スタッフにお名前と連絡先、相談内容をお伝えください。  
(匿名での相談も可能です)
- 3 必要に応じて、面接相談の予定を立てたり専門機関を紹介したりします。



メールはこちらから送れます。